

財務部



金融庁は、平成十五年三月二十八日、「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」を発表しました。リレーションシップバンキングとは、金融機関が借り手企業との長期継続する関係の中から、経営者の資質や事業の将来性等についての情報を得て、融資を実行するビジネスモデルをいいます。

今回発表されたアクションプログラムは、このよくなリレーションシップバンキングの機能の中心的な担い手として期待される、中小・地域金融機関の機能の強化と持続可能性の確保に向けて、今後、各金融機関や金融当局が取り組むべき行動計画を示した今般、同プログラムの一環として、以下の二つの会議を設置しました。

※「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」を詳しくお知りになりたい方は、金融庁ホームページをご覧下さい。
<http://www.fsa.go.jp/kinsai.html>

「沖縄地区産業クラスターサポート金融会議」の設置（六月十一日）



沖縄地区産業クラスターサポート金融会議

産業クラスターサポート金融会議は、経済産業省が進める「産業クラスター計画」のプロジェクトに参加する企業と地元金融機関と

の交流提携の場を提供することなどを目的としており、今後、この場を通じて、有望な研究開発企業

への融資案件につながるなど、金融機関の創業・新事業支援機能等の強化が図れるものと期待されています。

沖縄地区においては、六月十二日に第一回会議が開催されました。沖縄総合事務局財務部及び経済産業部は連携して、引き続き同会議をサポートしていくこととしております。

「沖縄地域金融円滑化会議」の設置（六月二十五日）

地域金融円滑化会議は、「顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化」策として、貸し渋り・貸し剥がしホットラインにより金融当局に寄せられた情報や、各金融機関等に寄せられた苦情・相談等に関し、意見交換を行うため、都道府県毎に金融当局、中小・地域金融機関及び関係業界団体から構成されており、平成十五年度から四半期毎に開催するこ

ととされています。

沖縄地区においては、六月二十五日に第一回会議が開催されました。会議では、当局から貸し渉り・貸し剥がしホットラインの受付状況等の報告が行われた後、関

係業界団体及び各金融機関等から寄せられた相談・苦情等実例の分析・還元、対応・処理状況等の報告がありました。また、会議の議論を踏まえて、金融機関等においては、銀行法及び金融商品販売法等の趣旨に沿い、顧客に対しあ切な説明をするよう職員の周知徹底を図ること、相談・苦情処理体制の強化に向けて、引き続き改善に努めることなどが確認されるとともに、関係業界団体においても、金融機関の相談・苦情処理体制の強化に資するよう必要な協力をを行うことが確認されました。

